



第22回博要住民自治協議会定期総会及び合同委員会開催

5月16日(土)、令和8年度定期総会が開催されました。56名の役・委員のうち、出席と委任状提出の合計47名による審議が行われ、令和7年度事業報告及び決算報告、令和8年度事業計画(案)及び予算(案)は、原案どおり可決承認されました。

令和8年度の及び部会長・副部会長は以下のとおりです。1年間よろしくお願いいたします。
なお、予算決算資料は、4ページより掲載しています。

《令和8年度役員及び部会長・副部会長》

新年度

会 長	奥 眞治	自治振興広報部会
副会長	川北 晋一	部会長 澤井 剛
副会長	宮脇 典明	副部会長 奥永 素久
書 記	竹矢 久志	産業振興・環境整備及び美化部会
会 計	福永 篤人	部会長 堀池 舞子
監 事	奥 節哉	副部会長 川合 敏夫
監 事	宮脇 宣昌	健康・福祉ふれあい部会
幹 事	上谷 秀子	部会長 嶋地 章
幹 事	新 喜夫	副部会長 八木 かな子
幹 事	宮本 慶三	防災部会
幹 事	坂野 光生	部会長 稲岡 聡平
		副部会長 小竹 顕作



ほたる祭り実行委員会開催

令和8年度ほたる祭り実行委員会を開催し、役員、委員など52名が出席しました。

出席者からは、昨年度の経験をもとに、当日の安全面などについて活発な意見が出されました。

今年は6月6日に開催します。是非ご来場をください。
詳しくはチラシをご覧ください。



「日常生活支援事業」「緊急通報装置貸付事業」をご利用ください

●「日常生活支援事業」とは？

地域住民が「助け合い、支え合って」いくことで、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを目的とし、一人暮らし高齢者の日常生活をお手伝いする事業です。

《支援内容》

電球の交換・季節用品の入替・家電の利用支援・家具の組み立てや簡単な修理・家具の移動・雨樋の清掃・ゴミ出し・話し相手・各種申請・パソコン使用等

※その他、お気軽にご相談ください。

《利用料金》

1回（1時間以内）300円



●「緊急通報装置設置貸与事業」とは？

緊急時の連絡手段を確保するため、次の①～⑤のいずれかに該当する家庭の電話に接続する装置を無償で貸与する事業です。この装置は、緊急時に電話番号を押さなくても、非常ボタンを押すだけであらかじめ登録しておいたご家族やご近所などに連絡がいく仕組みになっています。

《対象》

- ①おおむね65歳以上のみの世帯
- ②日中高齢者のみの世帯
- ③介護認定を受けている方
- ④障がい者手帳を保有している方
- ⑤その他、会長が必要と認めた場合



※NTT以外の契約をされている場合は設置できません。

《利用方法》

市民センターにご連絡ください

◇今後の予定◇

6/6(土)	15:00~ 21:00	博要地区ほたる祭り2026	博要地区市民センター周辺
6/11(木)	10:00~	献立会議 (B班)	博要地区市民センター和室
6/12(金)	13:30~	種生おしゃべりサロン	種生生活改善センター
6/13(土)	8:50~	矢生地区親睦パークゴルフ大会	青山ハーモニー・フォレスト
6/17(水)	19:30~	地域福祉ネットワーク会議	博要地区市民センター大会議室
6/18(木)	11:30~	配食サービス	申込者宅へお弁当を配布します
6/19(木)	19:30~	本部役員会議	博要地区市民センター小会議室
6/20(土)	10:00~ 15:00	田舎のえきはくようTERAS (照らす) /きなりはなれ+	田舎のえき (萩田邸)
6/21(日)	10:00~	hakuyoga (ハクヨガ)	青山ハーモニー・フォレスト
	13:30~	老川ほっこりサロン	青山文化センター
6/26(金)	10:00~	健康・栄養・介護教室	青山文化センター

♡恭子ちゃんのどおーのこおーの♡

『私たちの「あたりまえ」は、
誰かの「宝物」』

新緑がまぶしい季節、GWには田んぼに水が張られましたね。今年もこの美しい景色を「天空の水鏡（みずかがみ）」と名付けて、小さな撮影会を企画してみました。すると、なんと地域外から十人以上の方がカメラを手に集まってくださったのです。遠方から来られたある方が、夕日を映してキラキラと輝く田んぼを見つめながら、しみじみとこう仰いました。



「この景色は、本当にとてつもない価値がある。お金を払ってでも見に来たい人が、世の中にはたくさんいますよ」と。

これを聞いて、どう感じますか？

毎日坂道を歩き、当たり前のように田んぼや畑を耕してきた皆さんからすれば、「ええ？これがそんなに珍しいもんかねえ」と、不思議な気持ちになるかもしれません。でも、その「何も思わないくらい当たり前」という感覚は、実はとても自然で、豊かなことです。それだけ皆さんが、この土地の自然と深く溶け合って生きてこられた証拠だからです。同時に、一步外の世界へ出てみれば、「コンクリートではない、本当の土と、美しい水のきらめきに触れたい」と、心から願っている人たちがたくさんいます。私たちが毎日見ている何気ない田んぼの風景、お茶を飲む時間、鳥の声。それらは決して「何もない田舎の日常」ではなく、誰かにとっては魂が震えるほどの「奇跡のような宝物」だったりします。

「自分が思う当たり前」のすぐ外側に、そんな「別の誰かが感動してくれる世界」が、今この瞬間も一緒に存在しています。どちらの見方も、同じように本当のこと。そう思うと、明日ふと窓の外を眺めたとき、いつもの見慣れた山や田んぼが、なんかほんの少し違って見えたりしませんか？私たちの暮らしは、もうすでに、これ以上ないほどの豊かさで満ちています。そのことを、外から来た人たちがそっと教えてくれた、温かい春の出来事でした。

美しい景色を見せていただいて、いつもいつも、ありがとうございます。

